



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月25日

上場会社名 山崎製パン株式会社
 コード番号 2212 URL <https://www.yamazakipan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 会田 正久
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	318,735	3.9	16,817	1.8	16,550	△4.8	10,979	0.3
2024年12月期第1四半期	306,658	10.8	16,512	76.9	17,382	79.8	10,944	99.6

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 11,372百万円 (△26.5%) 2024年12月期第1四半期 15,467百万円 (318.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	55.39	—
2024年12月期第1四半期	53.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	849,037	458,544	48.3
2024年12月期	865,105	460,486	47.6

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 410,205百万円 2024年12月期 412,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	—	—	45.00	45.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	633,000	2.5	32,300	4.1	34,500	1.4	22,000	2.0	110.99
通期	1,275,000	2.5	55,000	6.0	58,500	3.9	37,000	2.7	186.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期1Q	220,282,860 株	2024年12月期	220,282,860 株
-------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2025年12月期1Q	22,727,904 株	2024年12月期	21,401,522 株
-------------	--------------	-----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期1Q	198,218,128 株	2024年12月期1Q	204,268,029 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、インバウンド需要が増加するなど景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、実質賃金の伸び悩みもあり個人消費は低迷いたしました。

当業界におきましては、物価上昇が続きお客様の節約志向や低価格志向が強まる中で販売競争が一段と激化するとともに、鳥インフルエンザの影響により液卵が高騰したことに加え包材など原材料価格や人件費等の上昇もあり、厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、人流の増加やインバウンドの増加により売上回復が続きましたものの、人件費等のコスト上昇もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、主力製品の品質向上をはかるとともに、2極化・3極化戦略によって低価格製品を充実する一方で、女性製品開発担当者による高付加価値製品の開発に取り組むなど、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品開発を推進しました。本年1月1日出荷分から実施した、一部の食パン、菓子パン並びに和洋菓子製品の価格改定に際しましては、主力製品の品質向上や規格の充実とともに下支え製品の充実強化などお客様のニーズに合わせた製品対応につとめるとともに、「春のパンまつり」を活用して販売数量の確保をはかりました。また、昨年1月にリニューアル発売した「ダブルソフト」における新規技術を最大限活用し、本年1月から主力食パンの「ロイヤルブレッド」に導入して業績向上の推進力とするとともに、この技術を和菓子や洋菓子にも活用し、品質訴求による売上拡大をはかりました。

また、当社は引き続き、労働安全衛生管理体制の整備・充実強化を推進し、労働安全衛生推進基本会議を毎月開催して、経営陣、本社各部・各工場が一体となって労働安全衛生に関する問題課題の解決に取り組みました。また、2本立ての労働安全衛生管理体制の整備・充実強化をはかり、安全日誌を活用して従業員によるチョコ停・トラブル、ヒヤリハットの情報を日次・週次・月次で管理し改善を進める、ボトムアップによる労働安全衛生管理とともに、本社各部及び各工場における機械設備の徹底したリスクアセスメントの実施によるリスクの排除とリスクレベルの低減、並びに各工場における工場長、管理・監督職による日々の安全パトロールや安全教育を実施する、トップダウンによる労働安全衛生管理を2本立てで行い、働く職場の安全安心の実現に取り組みました。

デイリーヤマザキやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトにおいて日次管理・週次管理・時間管理の経営手法により日々の仕事の精度向上をはかるとともに、小売事業本部内の戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携した女性製品開発担当者による商品開発を推進してお客様に喜ばれる商品づくりに取り組み、業績向上をめざしました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、山崎製パン(株)単体の和洋菓子を中心に業績が好調に推移したことに加え、連結子会社の業績の寄与もあり、売上高は3,187億35百万円(対前年同期比103.9%)、営業利益は168億17百万円(対前年同期比101.8%)となりました。また、為替相場の変動に伴い為替差損を計上したことにより、経常利益は165億50百万円(対前年同期比95.2%)となりましたものの、税制改正に伴う実効税率の引上げにより繰延税金資産が増加し法人税等調整額が減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は109億79百万円(対前年同期比100.3%)となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門(売上高291億59百万円、対前年同期比102.3%)

食パンは、本年1月から新規技術を活用して品質を向上させた「ロイヤルブレッド」が大きく伸長するとともに、「スイートブレッド」などの低価格食パンや前期に品質を向上させた「レーズンゴールド」が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

②菓子パン部門（売上高 1,213 億 51 百万円、対前年同期比 102.4%）

菓子パンは、「まるごとソーセージ」や「アップルパイ」などの主力菓子パンが伸長するとともに、ヤマザキ菓子パンや「ずっしり」シリーズ、「ドーナツステーション」などの低価格製品が伸長しました。さらに、米国及び東南アジア子会社の売上が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

③和菓子部門（売上高 206 億 29 百万円、対前年同期比 105.7%）

和菓子は、主力の串団子や饅頭が伸長するとともに、新規技術を活用したホットケーキや中華まんが好調に推移しました。さらに、低価格製品の「やまざき蒸しパン」シリーズやチルド対応の和洋折衷製品の寄与もあり、前年同期の売上を上回りました。

④洋菓子部門（売上高 421 億 19 百万円、対前年同期比 105.3%）

洋菓子は、新規技術を活用した「イチゴスペシャル」などのスナックケーキや「5つに切ったロールケーキ」などのスイスロールが好調に推移しました。さらに、コンビニエンスストア向け製品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高 383 億 29 百万円、対前年同期比 106.3%）

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカにおいておにぎりが伸長するとともに、主要取引先であるコンビニエンスストアチェーンの販売施策により取引が増加したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高 445 億 97 百万円、対前年同期比 103.4%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「ホームパイ」やヤマザキビスケット(株)の「チップスター」、(株)東ハトの「ハーベスト」等、各社の主力品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は 2,961 億 86 百万円（対前年同期比 103.7%）、営業利益は 161 億 15 百万円（対前年同期比 101.3%）となりました。

＜流通事業＞

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携して、デイリーホット商品や「ランチパック 大盛り」シリーズ等、女性製品開発担当者による競争力のある商品開発や、新規技術による冷凍生地を活用したデイリーホットの品質向上に取り組むなど、お客様に喜ばれるヤマザキ独自のコンビニエンスストアチェーンをめざしました。また、松戸・杉並ドミナントプロジェクトにおいて、デイリーホットを中心に収益の改善をはかるとともに、売り場づくりや店舗改装によるヤマザキらしい店づくりに取り組むなど、デイリーヤマザキ1店1店の店舗収益の改善をはかりました。この結果、第1四半期は、チェーン全店売上高が前年同期を上回るとともに、営業総収入は直営店舗数の増加もあり増収となりました。

以上の結果、流通事業の売上高は 189 億 9 百万円（対前年同期比 108.4%）、営業損失は 2 億 37 百万円（前年同期は 3 億 21 百万円の営業損失）となりました。

＜その他事業＞

その他事業につきましては、売上高は 36 億 39 百万円（対前年同期比 103.5%）、営業利益は 8 億 8 百万円（対前年同期比 104.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は 8,490 億 37 百万円で、前連結会計年度末に対して 160 億 67 百万円減少しました。流動資産は 3,276 億 80 百万円で、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して 137 億 23 百万円減少しました。固定資産は 5,213 億 57 百万円で、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に対して 23 億 44 百万円減少しました。負債合計は 3,904 億 92 百万円で、未払費用等の支払債務の減少や借入金の返済等により、前連結会計年度末に対して 141 億 25 百万円減少しました。純資産は 4,585 億 44 百万円で、自己株式の取得等により、前連結会計年度末に対して 19 億 42 百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は 48.3%となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、緩やかに回復し個人消費も持ち直していくことが期待されますが、米国の関税政策の影響が懸念され、景気の先行きは予断を許しません。当業界におきましては、物価上昇によりお客様の節約志向や低価格志向が根強く続く中で、油脂の高騰を始めとした原材料価格の上昇に加え、人件費やエネルギーコストなどの上昇が予測され、厳しい経営環境になるものと思われまます。

このような状況下にあります、当社グループは、引き続き「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、新規技術を活用した品質向上をはかり、2極化・3極化戦略によって、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品対応を推進し、新しい価値と新しい需要の創造に取り組むとともに、2本立ての労働安全衛生管理体制の整備・充実強化をして働く職場の安全安心の実現にも取り組み、着実な業績向上をはかってまいります。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始し、運営部・商品部が一体となって新しい価値と新しい需要の創造に取り組む、デイリーヤマザキ本部が中心となってオリジナル商品の開発を推進し、業績回復をめざしてまいります。また、既存店の改装によるヤマザキらしい店づくりなど、各工場と連携して着実に推進し、デイリーヤマザキ1店1店の店舗収益の改善をはかってまいります。

なお、本年4月以降も引き続き売上は順調に推移しており、当社グループ一丸となって新しい価値の創造に取り組む、所期の目標達成をめざし努力してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	152,443	158,532
受取手形	139	11
売掛金	140,892	119,880
商品及び製品	14,762	15,844
仕掛品	992	1,339
原材料及び貯蔵品	16,893	17,063
その他	15,589	15,310
貸倒引当金	△309	△301
流動資産合計	341,404	327,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	441,936	445,016
減価償却累計額	△325,337	△328,906
建物及び構築物（純額）	116,599	116,110
機械装置及び運搬具	596,284	600,656
減価償却累計額	△502,751	△507,957
機械装置及び運搬具（純額）	93,532	92,699
工具、器具及び備品	45,445	45,851
減価償却累計額	△36,603	△37,086
工具、器具及び備品（純額）	8,841	8,765
土地	126,078	126,907
リース資産	23,402	25,069
減価償却累計額	△15,243	△16,471
リース資産（純額）	8,158	8,598
建設仮勘定	5,385	6,146
有形固定資産合計	358,597	359,226
無形固定資産		
のれん	7,168	7,267
その他	12,029	11,631
無形固定資産合計	19,197	18,899
投資その他の資産		
投資有価証券	76,726	74,281
長期貸付金	654	597
退職給付に係る資産	33,048	34,384
繰延税金資産	9,125	6,424
その他	28,283	29,447
貸倒引当金	△1,931	△1,904
投資その他の資産合計	145,906	143,231
固定資産合計	523,701	521,357
資産合計	865,105	849,037

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,424	88,779
短期借入金	60,302	61,598
リース債務	3,679	3,762
未払法人税等	11,674	6,358
未払費用	42,465	38,563
賞与引当金	6,014	15,926
店舗閉鎖損失引当金	49	52
資産除去債務	30	3
その他	54,313	45,284
流動負債合計	269,953	260,328
固定負債		
長期借入金	32,373	29,580
リース債務	4,693	5,059
役員退職慰労引当金	5,938	6,045
退職給付に係る負債	74,282	75,128
資産除去債務	4,824	4,877
その他	12,552	9,472
固定負債合計	134,664	130,164
負債合計	404,618	390,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,632	9,632
利益剰余金	374,629	376,659
自己株式	△51,852	△55,516
株主資本合計	343,422	341,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,534	33,527
繰延ヘッジ損益	2	△0
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	5,425	7,935
退職給付に係る調整累計額	27,665	26,854
その他の包括利益累計額合計	68,727	68,415
非支配株主持分	48,336	48,339
純資産合計	460,486	458,544
負債純資産合計	865,105	849,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	306,658	318,735
売上原価	202,847	211,833
売上総利益	103,811	106,902
販売費及び一般管理費	87,298	90,084
営業利益	16,512	16,817
営業外収益		
受取利息	109	168
受取配当金	95	119
固定資産賃貸収入	245	236
持分法による投資利益	80	108
為替差益	522	—
雑収入	301	270
営業外収益合計	1,354	903
営業外費用		
支払利息	192	341
固定資産賃貸費用	68	67
為替差損	—	548
雑損失	223	212
営業外費用合計	484	1,170
経常利益	17,382	16,550
特別利益		
固定資産売却益	46	61
関係会社株式売却益	300	282
投資有価証券売却益	186	—
その他	6	47
特別利益合計	540	391
特別損失		
固定資産除売却損	235	294
その他	72	64
特別損失合計	307	359
税金等調整前四半期純利益	17,614	16,582
法人税等	5,874	4,831
四半期純利益	11,740	11,751
非支配株主に帰属する四半期純利益	796	772
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,944	10,979

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	11,740	11,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,213	△2,041
為替換算調整勘定	△1,209	2,508
退職給付に係る調整額	△289	△843
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△2
その他の包括利益合計	3,726	△379
四半期包括利益	15,467	11,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,548	10,668
非支配株主に係る四半期包括利益	918	704

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	28,506	—	—	28,506	—	28,506
菓子パン	118,493	—	—	118,493	—	118,493
和菓子	19,515	—	—	19,515	—	19,515
洋菓子	40,004	—	—	40,004	—	40,004
調理パン・米飯類	36,066	—	—	36,066	—	36,066
製菓・米菓・その他商品類	43,115	—	—	43,115	—	43,115
その他	—	17,442	3,465	20,908	—	20,908
顧客との契約から生じる収益	285,701	17,442	3,465	306,609	—	306,609
その他の収益	—	—	49	49	—	49
外部顧客への売上高	285,701	17,442	3,514	306,658	—	306,658
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,365	2,230	9,821	15,417	△15,417	—
計	289,067	19,673	13,335	322,076	△15,417	306,658
セグメント利益又は損失(△)	15,914	△321	777	16,370	142	16,512

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額142百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日至2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	29,159	—	—	29,159	—	29,159
菓子パン	121,351	—	—	121,351	—	121,351
和菓子	20,629	—	—	20,629	—	20,629
洋菓子	42,119	—	—	42,119	—	42,119
調理パン・米飯類	38,329	—	—	38,329	—	38,329
製菓・米菓・その他商品類	44,597	—	—	44,597	—	44,597
その他	—	18,909	3,587	22,496	—	22,496
顧客との契約から生じる収益	296,186	18,909	3,587	318,683	—	318,683
その他の収益	—	—	51	51	—	51
外部顧客への売上高	296,186	18,909	3,639	318,735	—	318,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,640	2,315	11,305	17,261	△17,261	—
計	299,827	21,225	14,944	335,996	△17,261	318,735
セグメント利益又は損失(△)	16,115	△237	808	16,686	131	16,817

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額131百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,326,200株の取得を行っております。この結果等により、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が3,663百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が55,516百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	9,746百万円	10,192百万円
のれんの償却額	407百万円	419百万円

3. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位: 百万円)

セグメント名称	区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	28,506	9.3%	29,159	9.2%	652	102.3%
	菓 子 パ ン	118,493	38.6	121,351	38.1	2,858	102.4
	和 菓 子	19,515	6.4	20,629	6.5	1,114	105.7
	洋 菓 子	40,004	13.0	42,119	13.2	2,114	105.3
	調理パン・米飯類	36,066	11.8	38,329	12.0	2,263	106.3
	製菓・米菓・その他商品類	43,115	14.1	44,597	14.0	1,482	103.4
	食 品 事 業 計	285,701	93.2	296,186	93.0	10,485	103.7
	流 通 事 業	17,442	5.7	18,909	5.9	1,466	108.4
	そ の 他 事 業	3,514	1.1	3,639	1.1	124	103.5
	合 計	306,658	100.0	318,735	100.0	12,076	103.9

(2) 主要子会社実績

(単位: 百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第1四半期	当第1四半期	増 減 額	増 減 率	前第1四半期	当第1四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家(連結)	27,102	28,051	948	3.5%	1,105	1,010	△ 95	△ 8.6%
(株)サンデリカ	25,082	26,574	1,491	5.9	562	682	120	21.4
(株)YKベーキングカンパニー	8,201	9,510	1,309	16.0	127	188	60	47.5
ヤマザキビスケット(株)	8,595	8,922	327	3.8	954	990	36	3.8
(株)東ハト	7,375	7,786	410	5.6	527	549	21	4.1
(株)ヴィ・ド・フランス	7,264	7,175	△ 89	△ 1.2	349	369	20	5.8

(3)2025年12月期第1四半期の単体業績 (2025年1月1日～2025年3月31日)

①単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	219,889	2.6	11,144	△ 2.8	11,952	△ 9.0	8,853	△ 4.2
2024年12月期第1四半期	214,409	7.1	11,468	60.2	13,138	61.4	9,241	65.0

②単体財政状態

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期第1四半期	572,663	315,481		
2024年12月期	587,223	321,172		

(4)単体販売実績

(単位:百万円)

期別 品 種 別	前第1四半期 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)		当第1四半期 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	26,260	12.2%	26,619	12.1%	359	101.4%
菓子パン	99,725	46.5	99,611	45.3	△ 114	99.9
和菓子	19,286	9.0	20,394	9.3	1,107	105.7
洋菓子	30,158	14.1	32,002	14.6	1,844	106.1
調理パン・米飯類	13,525	6.3	14,428	6.6	903	106.7
製菓・米菓・その他商品類	11,814	5.5	11,990	5.4	176	101.5
小計	200,770	93.6	205,046	93.3	4,276	102.1
デイリーヤマザキ事業	18,241	8.5	19,818	9.0	1,577	108.6
内部消去	△ 4,602	△ 2.1	△ 4,976	△ 2.3	△ 373	—
合計	214,409	100.0	219,889	100.0	5,480	102.6

(5)単体営業利益増減の内訳

(単位:百万円)

	2024年 第1四半期		2025年 第1四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	%	金額	%		
営業利益						
山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)	11,785	5.9	11,378	5.5	△ 407	△ 3.5
デイリーヤマザキ事業	△ 317	△ 1.7	△ 234	△ 1.2	83	—
合計	11,468	5.3	11,144	5.1	△ 323	△ 2.8

<山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)増減内訳>

(単位:百万円)

	2024年 第1四半期		2025年 第1四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
	金額	%	金額	%			
売上総利益	65,012	32.4	65,740	32.1	728	1.1	売上高の増加 1,941 原材料費の増加 ▲ 636 製造労務費の増加 ▲ 292 製造経費の増加 ▲ 132 製造償却費の増加 ▲ 133 その他 ▲ 20
販売費及び一般管理費	53,226	26.5	54,362	26.5	1,135	2.1	人件費の増加 ▲ 263 経費の増加 ▲ 815 償却費の増加 ▲ 57

(注)「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)の売上高に対する比率を記載しています。